

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福岡市中央区長浜2丁目計画	階数	地上21F
建設地	福岡市中央区長浜二丁目7・8・9-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	597 人
気候区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2015年10月26日
敷地面積	2,156 m ²	作成者	株式会社フジタ九州支店一級建築士事務所
建築面積	975 m ²	確認日	2015年11月11日
延床面積	15,967 m ²	確認者	株式会社フジタ九州支店一級建築士事務所



さい

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.7

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	総合設計制度利用により、公開空地や豊かな緑地を設け、地域環境に配慮しつつ、共同住宅としての環境性能を向上させ、住居者への配慮を図った。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	屋根・壁・床への十分な断熱対応を行い、建物の熱負荷低減に配慮した。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	住戸専有部分天井高2.45mを確保し、且つバリアフリー新法円滑化基準を満足する等、サービス性能に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	公開空地・歩道状空地及び豊かな緑地空間を設け、周辺環境に配慮した計画を行った。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	開口部に部分的にLow-eガラスを採用し、熱負荷低減を図った。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	グリーン調達品の採用により、地球環境に配慮した材料選定を行った。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	免震装置の採用により、敷地外環境への地震時影響を低減させた。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される